

①学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減すること。

②段階的に実施可能な教育活動を開始すること。

この2点を踏まえ、学校での教育活動を開始し、その活動を評価しながら、学校再開に向けての取組を進めていきます。

＜校区別の分散登校による授業開始 6月1日～12日＞

本日、校区別（スクールバス通学と徒歩通学）の2グループに分けた分散登校による登校日を行いました。初めての集団登校を経験する1年生、新たな集団を見守った高学年のリーダー、そして子供たちを支えてくださいました、保護者の皆様、見守り隊の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。この2つのグループに分けた分散登校により、6月1日から12日までの2週間、学校での授業を再開します。

学校再開に向けた具体的な対応につきましては、本日配付しました別紙資料「美山小学校 学校再開に向けた対応について」をご覧ください。子供たちの健康管理、マスクの準備、安全な登下校、家庭での昼食の準備など、ご協力いただくことばかりですが、よろしくお願いいたします。なお、15日以降の学校につきましては、2週間の取組を評価し、方向を決定します。

今、私たちに問われていることは、『心の健康』です！

正しい情報を判断し、不当な差別・偏見・いじめをなくすこと

新型コロナウイルス感染症の恐ろしさは、年齢を問わず感染し、命も奪ってしまう感染症であることです。この未知の感染症に対し、自らの感染の危険を顧みず、不眠不休の状態で新型コロナウイルス感染症の治療に当たる医療機関や医療従事者の方々がいます。不要不急の外出を避ける中、国民の生活を支えるために、社会機能の維持にあたる方、職場や現場で働いてみえる方々がいます。これらの方々によって今の状態が保たれている中、誤った情報や認識に基づく不当な差別・偏見・いじめが起きています。また、感染者、濃厚接触者への差別・偏見、感染症が広まっている地域に住んでいる人・咳をしている人・マスクをしていない人・外国から来た人などを、見えないウイルスへの不安から、嫌悪の対象として、差別・偏見が生まれています。本当に恐ろしいのは、「病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別がさらなる病気の拡散につながること（日本赤十字社）」です。今、私たち全世界の人間に問われていることは、身体の健康はもちろんのこと、正しい情報を判断し、差別的な言動に同調しないこと、『心の健康』を保つことであると考えます。

個人懇談会の開催（希望者）

しかし、私たちにとって初めてのことで、不安なこともたくさんあります。子供たちにとっても同様です。学校での生活、学習についての不安、これからの将来についての不安など、ぜひ学校にお電話ください。学校再開までの26日から29日までの4日間、保護者の皆様との二者懇談、お子様も含めた三者懇談をご希望に合わせて行います。

学校・家庭・地域が一体となって、この困難を乗り越えていきましょう。

